

## 大宅町長の公務百景 (No. 85)

※町長の公務を報告するコーナーです。



7月	会議・行事名
1	ハッ橋設備(株) 訪問/会津総合開発協議会役員会
2	アルメニア共和国アレグ・ホヴァニシヤン駐日大使来庁
5	室井一雄氏叙勲伝達式
6	福島地方気象台長とのオンライン会議/東北電力ネットワーク(株)田島電力センター来庁
7	五十嵐天宗氏来庁/町都市計画マスタープラン策定委員会
8	全国治水砂防協会東北地区協議会通常総会
9	全国治水砂防協会東北地区協議会研修会
10	J A会津よつば17市町村合同トップセールス

12	福島県市町村総合事務組合議会臨時会
13	南会津建設事務所来庁/南郷地域協議会/新型コロナウイルス感染症対策本部会議
16	長岡国道事務所来庁/阿賀川河川事務所来庁/会津鉄道(株)来庁/鶴巣ほ場整備組合来庁
19	福島県市町村総合事務組合監査/福島県町村会正副会長会議・同役員会/福島県への要望活動
20	町農業委員会委員辞令交付式/総合教育会議
21	町長杯ターゲット・バードゴルフ大会/田島中学校ソフトボール部福島県中学校体育大会優勝報告
26	南会津農林事務所来庁
29	南会津町の湿原を守る会来庁/福島県遺族会来庁
30	課長会議/南会津町・只見町・三条市による首長懇談会/越後・南会津街道観光・地域づくり円卓会議

## 今月号の目次

### P 2 : 特集

姉妹で挑む「プロへの道」

### P 6 : 南会津町青少年の主張大会

各部門最優秀賞に輝いた主張をご紹介します

### P 10 : 役場からのお知らせ

林業の拠点施設を整備しています など(7件)

### P 14 : まちの話題

ホストタウンがつなぐ絆 など(15件)

### P 19 : 暮らしの情報

「福島県民の日」関連情報 など(5件)

### P 20 : 学び舎スケッチ

町内各学校の日常をご紹介します、図書館へ行こう!

### P 24 : 健康通信

すまいるだより、日曜当番医、健康レシピ

### P 26 : 文芸・戸籍など

伊勢道中記、文芸ごよみ、大宅町長の公務百景、戸籍の窓口、今月号の目次、編集後記

### P 28 : Only One

馬場寛人さん、今月号の表紙、8月の納税ごよみ

## 編集後記

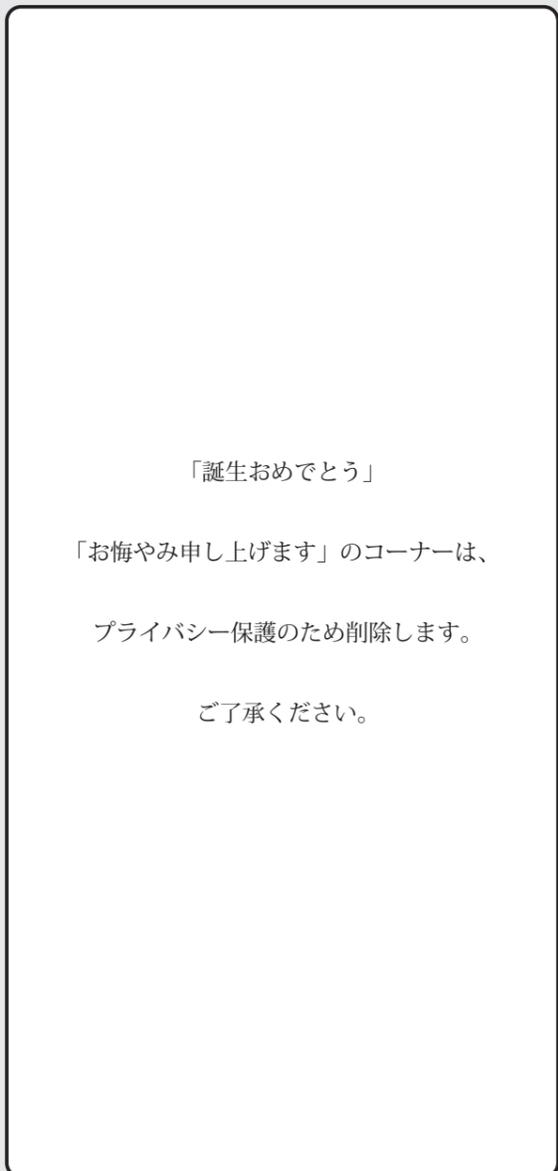
- ◆東京2020オリンピック日本代表選手の活躍を前に、テレビにくぎ付けだった方も多いはず。24日にはパラリンピックが開幕。ドキドキの連続で、心臓に悪い日がこれからも続きそうです。
- ◆炎天下の日もあれば、急に雨が降り出す日もあり、天候の変化で体調を崩すことがないよう、くれぐれもご注意ください。

ご意見・ご要望はコチラまで

総合政策課 津吹 雅之 kouhou@minamiaizu.org

## 戸籍の窓口 (6月29日~7月26日)

※上記期間の届け出のうち、承諾のあったものを掲載しています。



「誕生おめでとう」

「お悔やみ申し上げます」のコーナーは、

プライバシー保護のため削除します。

ご了承ください。



旅の2日目となる2月15日の朝、猛吹雪の中で糸沢宿を出発した一行は、お昼ごろになってようやく山王茶屋へたどり着きました。

道中記には「待まふけありて、酒、飯、数種の料理あり、馳走になる」と記されています。「待まふけ」とは「待ち設ける」ことを指す言葉で「客人を待ち受ける」



「横川の一里塚」  
(日光市指定文化財)

や「用意して待つ」などの意味があります。

このことから、山王茶屋の主人には、伊勢参宮の一行がお昼ごろに到着することが事前に知らされ

ており、さまざまな料理や酒で厚くもてなしたものと考えられます。

その後も収まる気配のない猛吹雪に抗いながら、やっとの思いで山王峠を越え、横川宿(現栃木県日光市三依地区)まで到達し、宿泊することに。

横川宿でも「待まふけ」があったことが記されています。伊勢参宮に向かう人々を厚くもてなすことは、当時慣習化されていた様子が見えそうです。

旅の2日目は、悪天候に阻まれながらも、約10kmの行程を踏破した一行。翌日は、上三依、中三依を通り、川治から小佐越へ向かいます。

# 文芸ごよみ

### おくやま吟社 (田島地域)

立葵天を衝かんと咲き登る  
熟れ頃を見定めメロン冷やしけり  
雨止むや鳴く音競うて河鹿笛

星 昂明  
五十嵐孤庵  
湯田 畠道

### 伊南銀杏俳句会 (伊南地域)

菖蒲湯や忘れることもよかりけり  
醜草の伸びに追われる八十路かな  
ソーダーびん冷やすわき水天の雫

岡本りつ子  
馬場 良  
馬場 ミエ

### 南郷俳句会 (南郷地域)

夏霧の晴れて始発のバスの影  
茄子胡瓜出来て夕餉のはずむ声  
娘に妹に送りて余る胡瓜挽ぐ

平野恵美子  
酒井 栄子  
渡部 華子

### 鳴山短歌会

青嵐に麦わら帽子飛ばされて  
追いかける野に心は二十歳  
「この前の話」と言いついて同じこと  
友はまた言う十回以上  
うきうきと白酒抱えおぼらは  
つばくら祭の酒宴楽しむ

石橋 満江(中町)  
猪股 宏光(下塩江)  
梅宮トキ子(今生)